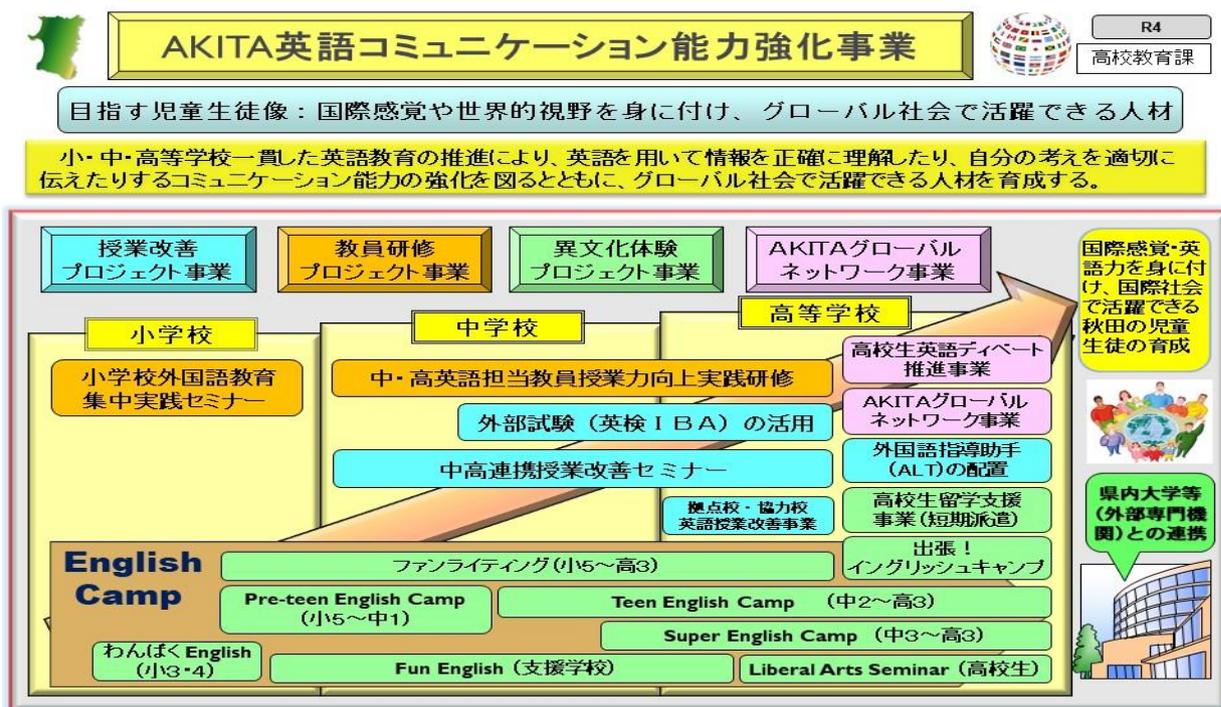


# 秋田県英語教育改善プラン

実施内容



(1) 英語教育の状況を踏まえた目標

本県の英語教育は、平成30年度に策定した「AKITA英語コミュニケーション能力強化事業」に基づいて取組が行われている。「授業改善プロジェクト事業」「教員研修プロジェクト事業」「異文化体験プロジェクト事業」「AKITAグローバルネットワーク事業」の四つの事業からなり、小・中・高等学校一貫した英語教育の推進を図っている。

令和4年度も本事業を継続し、今後の英語教育の充実を見据えながら、児童生徒の英語コミュニケーション能力及び教員の指導力・英語力の向上に取り組んでいく。とりわけ、令和4年度は、「目標-指導-評価の一体化」に基づく授業改善、教員の指導力及び英語力の向上、生徒の英語力向上に向けた校種間連携の3点を重点項目に挙げ、本県英語教育の推進を図る。

各重点項目の推進については、令和3年度英語教育実施状況調査、秋田県学習状況調査、外部試験（英検 I B A や TOEIC L&R IP オンラインテスト）の結果を踏まえ、次のような目標及び数値指標を設定する。

① 「目標-指導-評価の一体化」に基づく授業改善について

A：目標値（2022年度）及び実績値（2021年度）

(ア)〔目標〕CAN-DOリスト形式による学習到達目標の達成度の把握状況

小学校	目標値：100.0%	実績値：47.0%
中学校	目標値：100.0%	実績値：68.8%
高等学校	目標値：100.0%	実績値：78.2%

(イ)〔指導〕生徒が授業において英語による言語活動を行う時間の割合

中学校	目標値：98.0%	実績値：83.6%
高等学校	目標値：60.0%	実績値：48.9%

(ウ)〔評価〕パフォーマンステストの実施状況（全学年・全科目 両方実施割合）

中学校	目標値：100.0%	実績値：95.7%
高等学校	目標値：60.0%	実績値：33.6%

**B：課題と要因**

本県では、あきた型学習到達目標リスト〔CAN-DO形式〕を全県の小・中・高等学校に配付し、各校種の学習到達目標を示している。中学校、高等学校に対しては毎年学習到達目標リストの見直しと提出を求めているため、設定自体は100%である。しかしながら、パフォーマンステストの実施状況と、学習到達目標の活用状況にねじれが見られるなど、「目標-指導-評価の一体化」に課題が残る。

上記の課題の要因として、年間指導計画内でのパフォーマンステストの実施内容、方法、時期が明確に示されていないことが挙げられる。学習到達目標から言語活動や評価を具体化させるとともに、パフォーマンステストについては年間指導計画に計画的・明示的に位置付けるなどの取組を推進する必要がある。

**② 教員の指導力及び英語力向上について****A：目標値（2022年度）及び実績値（2021年度）**

(ア) 英語担当教員の授業における英語使用状況

中学校：目標値：100.0% 実績値：92.3%

高等学校：目標値：70.0% 実績値：34.7%

(イ) 求められる英語力を有する英語教師の割合（CEFR B2 レベル相当以上）

中学校：目標値：52.0% 実績値：34.2%

高等学校：目標値：77.0% 実績値：59.2%

**B：課題と要因**

本県では、ALTとのチームティーチングを積極的に行っている学校は、担当教員の授業における英語使用状況が良好である。授業では「教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデルの提示」が積極的に行われ、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等を明確にした授業が展開されている。一方、ALTとの連携に改善が必要な学校は、担当教員の授業における英語使用状況や学習指導要領に応じた指導に課題が見られる。

教員の英語使用頻度は、英語力向上に向けた意識や取組に少なからず影響を与えると考えられ、教員の指導力及び英語力の向上には、ALTとの連携強化が必須であると考えられる。しかしながら、現状としては、改善に向けた取組が個々の教員の意識向上や努力に委ねられていることが多く、組織的・継続的な取組がほとんど行われていない。県教育委員会として、学校訪問や各種研修等を通じて、ALTとの連携の在り方や協働による授業改善を推進するとともに、日頃の取組の成果を検証するための外部試験受験機会の提供などの支援が必要である。

**③ 生徒の英語力向上に向けた校種間連携について****A：目標値（2022年度）及び実績値（2021年度）**

(ア) 求められる英語力を有する生徒の割合

中学校：CEFR A1 レベル相当以上の英語力の割合 目標値：62.0% 実績値：53.1%

高等学校：CEFR A2 レベル相当以上の英語力の割合 目標値：60.0% 実績値：53.7%

(イ) 英語教育に関する小中連携、中高連携の状況

中学校：小中連携 目標値：90.0% 実績値：67.9%

高等学校：中高連携 目標値：46.0% 実績値：45.5%

**B：課題と要因**

本県では、中学2年生から高校3年生までを対象に、毎年6月「英検I B A」を実施し、生徒の学習改善及び教員の指導改善を図っている。これまでの分析結果からは、中学3年生から高校1年生の間に「英語が好き」と答えた生徒の割合が、他の学年間よりも大きく低下している。中高連携を推進することで、校種間接続に係る指導改善を図り、学習意欲低下を抑制する必要がある。

生徒の学習意欲低下の要因として、高校における言語活動機会の減少や高校受験後の具体

的目標の喪失などが挙げられる。令和3年度の英語教育実施状況調査においても、「生徒が授業において英語による言語活動を行う時間の割合」について、中学校と高校で35%ほどの差があり、指導方法の違い等が学習の動機付けに与える影響は少なくないと推察される。同様に、小中連携においても、小学校で専科教員として指導している中学校教員の指導方法が、児童の発達の段階や習熟の程度に合わず、学習の動機付けに苦勞しているケースも見られる。

校種間連携については、連携校との交流や情報共有等に係る日程調整の難しさが課題である。学びの連続性を高め、児童生徒の学習の動機付けや英語コミュニケーション能力の向上が図られるよう、連携の目的に合った様々な取組を推進する必要がある。

#### ■小学校教員の新規採用における一定の英語力を有する教員の採用促進について（取組）

- ・教員採用試験において、「小学校教諭等」の志願枠に「中学校英語免許状所有者枠」を設けている。今後も、中・高等学校英語免許状所有者に対し、一定の採用枠を設け、継続していく。
- ・初任者研修や「小学校外国語教育集中実践セミナー」等を通して、英語力向上や外部試験の受験に係る意欲の喚起を図っていく。また、各種研修や授業研究会の成果の検証として実施している外部試験を、中高英語担当教員に加え小学校教員も受験対象とする。
- ・「第3期あきたの教育振興に関する基本計画」において、教員の指導力及び英語力向上のための実践研修の充実を基本方針としている。令和6年度までに「小学校教員数に対する、小学校外国語活動教員研修等を受講済みの教員の比率（累積）」について、現状の28.5%（令和3年度）から、35.0%を目標値とし、小学校外国語担当教員の指導力及び英語力の向上を図る。

## (2) 目標を達成するための取組

英語教育改善プランの推進に当たり、高校教育課英語教育推進班が実施事務局を担当する。全県指導主事等連絡協議会（外国語活動・外国語部会）において、県教育委員会と各市町村教育委員会等が情報共有を図りながら、プランのPDCAサイクルの構築とEBPMの推進に取り組み、県全体として英語教育の改善に努める。

また、県内大学との連携を深め、大学の専門性を生かしながら「拠点校・協力校英語授業改善事業」での学校訪問及び各種研修会の充実を図る。さらに、学校訪問及び各種研修会においては、県教育専門監及び英語教育推進リーダーによる優れた授業実践例の紹介等を通じて、授業改善を推進する。研修等に当たっては、事務局が講師に対して趣旨を十分に説明し、理解を得た上で研修を実施できるよう十分に配慮する。

令和4年度の重点項目に係る目標達成に向け、各項目において具体的に以下の取組を推進する。なお、児童生徒の英語力や学習意欲等については、秋田県学習状況調査、外部試験（英検I B A）等の結果を活用し、定性的・定量的なデータ分析を行い、事業の改善を図っていく。

### ① 「目標-指導-評価の一体化」を通じた授業改善について

#### 《目標を達成するための取組》

- (1) 学習到達目標リストの見直し、提出を継続する。また、学習達成目標リストとパフォーマンステストを関連付けながら、その目標やテストの実施計画を児童生徒と共有を図るよう、学校訪問や研修等を通じて指導、改善していく。
- (2) 各研修においては、授業における英語の言語活動の質と量の改善に向けて、参加者による模擬授業の計画、実践を通して、その必要性や指導法を学ぶ機会を設ける。また、模擬授業の講評については、県内大学の外部講師から専門的な助言をいただく。
- (3) 県のホームページを通じて、「拠点校・協力校英語授業改善事業」等で得られたモデル実践例を普及する。また、研修等において、英語教育推進リーダー等の優れた実践例を紹介する。

**《実施計画》**

- 4月 学習到達目標リストの公表及び活用  
学習到達目標の状況把握（定期的に）
- 5月 学校訪問（～1月）
- 7月 拠点校・協力校英語授業改善事業（～12月）
- 9月 中高英語担当教員指導力向上実践研修
- 12月 学習到達目標リストの見直しの視点等通知
- 2月 秋田県教育研究発表会における実践発表
- 3月 学習到達目標リストの提出

**② 教員の指導力及び英語力向上について****《目標を達成するための取組》**

- (1) 「英語で行う英語の授業」の質と量の向上を図ることを主な目的として、英語担当教員とALTによる合同研修を年3回設定する。研修では、ALTとの協議やマイクロティーチングを行い、教員及びALTが共通認識をもって指導法について理解を深める。
- (2) 研修及び事業の成果把握を目的に、各研修終了後の長期休業中にTOEIC L&R IPテスト（オンライン）を実施する。研修受講者が客観的に自身の英語力を知り、指導力及び英語力向上への意識が高まるようフィードバックする。
- (3) 学校訪問等の提示授業では、ALTとのチームティーチングによる授業を原則とする。「英語で行う英語の授業」の改善、充実を目指すとともに、英語担当教員の指導力及び英語力向上を図る。

**《実施計画》**

- 5月 学校訪問（～1月）
- 6月 中高連携授業改善セミナー
- 7月 拠点校・協力校英語授業改善事業（～12月）  
小学校外国語教育集中実践セミナー
- 8月 TOEIC L&R IPテスト（オンライン）
- 10月 外国語指導助手指導力等向上研修
- 1月 TOEIC L&R IPテスト（オンライン）

**③ 生徒の英語力向上に向けた校種間連携について****《目標を達成するための取組》**

- (1) 校種間連携を推進するため、異校種の英語担当教員による合同研修を実施し、児童生徒の発達の段階や習熟の程度に応じた指導方法を共有したり、相互の理解を深めたりする。また、拠点校・協力校英語授業改善事業等の公開授業研究会において、県教育委員会と市町村教育委員会等が連携し、授業参観を通じた交流や情報共有を奨励する。
- (2) 生徒の英語力等（前学年における学習到達状況）を把握し、生徒の学習改善、教員の授業改善につなげることを目的に、「英検I B A」を実施する。学校ごとの到達状況及び全県的な分析結果については、各市町村教育委員会や学校とも結果を共有し、その後の学校訪問等を通じた授業改善に活かす。生徒には、個別結果を配付し、学習改善や学習の動機付けにつなげる。
- (3) 学習の動機付けとして、児童生徒がALTや他の児童生徒等と英語で交流する機会を充実させる。新型コロナウイルス感染拡大への不安に配慮し、従来のイングリッシュキャンプにおいて、オンラインを活用した非接触型の交流を拡充する。

### 《実施計画》

#### ○校種間連携に関すること

- 4月 全県指導主事連絡協議会
- 7月 中高連携授業改善セミナー  
拠点校・協力校英語授業改善事業（～12月）
- 8月 小学校外国語教育集中実践セミナー
- 10月 公開授業研究会（～11月）
- 12月 全県指導主事連絡協議会

#### ○生徒の英語力に関すること

- 6月 英検 I B A の実施（中学2年生～高校3年生対象）
- 9月 各市町村教育委員会、各中・高等学校、各個人への結果通知  
小・中学校英語科担当指導主事連絡協議会
- 10月 英検 I B A 結果分析会（日本英語検定協会、県外国語担当指導主事等）  
分析結果共有（各市町村教育委員会、各中・高等学校）

#### ○児童生徒の英語による交流に関すること

- 6月 イングリッシュキャンプ（～10月 年14回）
- 7月 リベラルアーツセミナー
- 8月 高校生即興型英語ディベート大会
- 9月 出張！ イングリッシュキャンプ（～11月）  
ファンライティング（～2月）
- 11月 高校生 e-Debate 交流会（～12月）

### (3) 実施する体制の概要

#### ① 主な実施体制

##### (1) 実施事務局

- ・秋田県教育庁高校教育課英語教育推進班指導主事等

##### 【活動内容について】

- ・事業推進全般 事業説明（各大学訪問等）、事業日程及び会場等の調整  
成果及び課題分析、報告 等

##### (2) 英語コミュニケーション能力強化開発チーム

- ・秋田県教育庁高校教育課・義務教育課 外国語担当指導主事等
- ・秋田県総合教育センター 外国語担当指導主事等
- ・秋田県教育庁各教育事務所 外国語担当指導主事等
- ・各市町村教育委員会 外国語担当指導主事等
- ・教育専門監（小・中・高等学校外国語教育担当）

##### 【活動内容について】

- ・全県指導主事等連絡協議会（外国語活動・外国語部会） 年2回実施  
（各地域・各校種の情報交換かつ課題分析・改善策の共有、報告等）
- ・小・中学校英語科担当指導主事連絡協議会 年1回実施
- ・研修会における研修講師等
- ・学校訪問指導

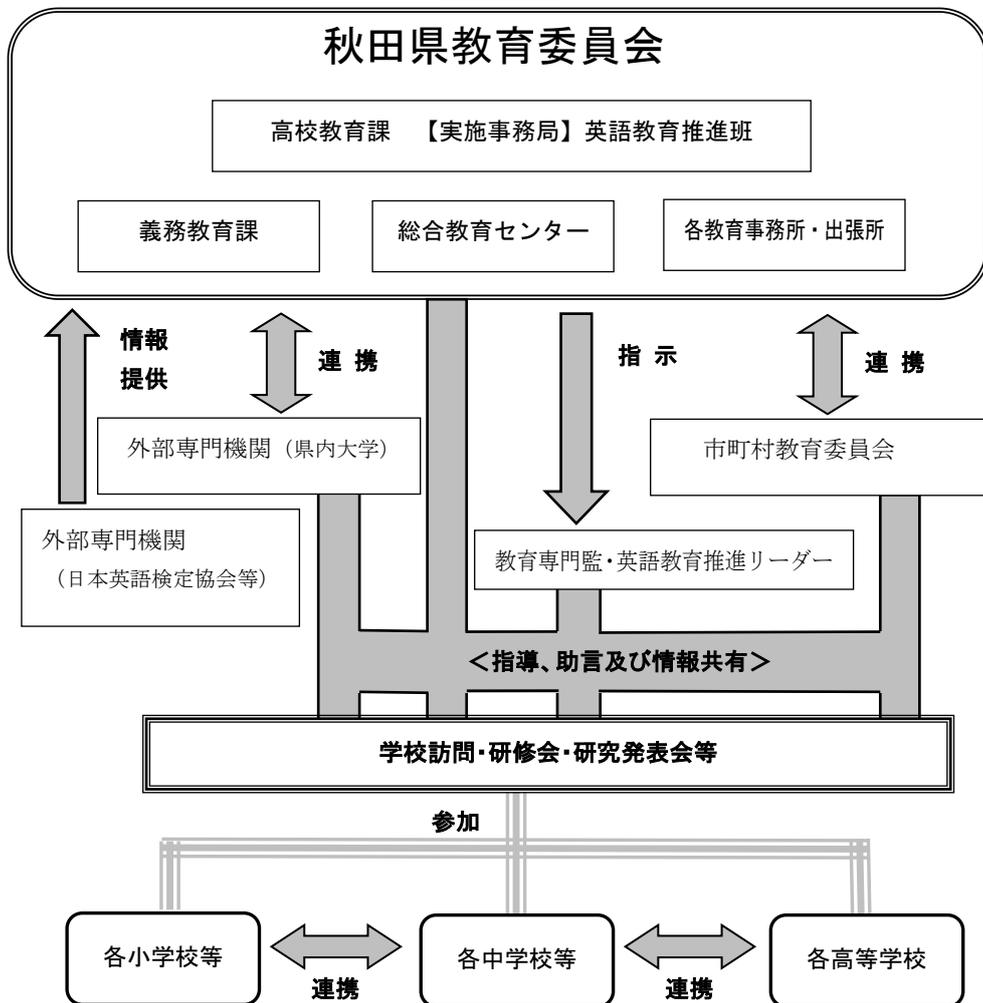
##### (3) 検討委員（外部の有識者等）

- ・秋田大学 教育文化学部 教授等
- ・国際教養大学 教授等
- ・英語教育推進リーダー

【活動内容について】

- ・ 研修協力校の授業研究会における指導
- ・ 研修会における研修講師等

② 実施体制の概要



秋田県教育委員会

※表中、斜線部は記入不要。計画段階では目標値のみ記入。

校種	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022		
		目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	
高等学校	①学習到達目標の整備状況	設定(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
		公表(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
		達成状況の把握(%)	60	51.4	55	70.8	60	60	65	78.3	100	100
	②生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	56	45	50	54.7	55	55	60	49.1	65	65	
	現行課程	○スピーキングテスト(回)	コミュニケーション英語Ⅰ	2	1.8	2	2.8	2	3	1.9		
			コミュニケーション英語Ⅱ	2	1.9	2	2.1	2	3	2.0	4	4
			コミュニケーション英語Ⅲ	1	0.8	1	0.6	1	3	1.3	4	4
			英語表現Ⅰ	1	1.1	1	0.8	1	3	0.6		
			英語表現Ⅱ	1	2.2	1	0.4	1	3	0.8	4	4
			英語表現Ⅲ	1	0.9	1	1.7	1	3	1.7		
		○ライティングテスト(回)	コミュニケーション英語Ⅰ	1	1.3	1	1.4	1	3	1.5	4	4
			コミュニケーション英語Ⅱ	1	0.8	1	0.7	1	3	1.3	4	4
			英語表現Ⅰ	2	1.7	2	2.2	2	3	2.7		
			英語表現Ⅱ	2	2.8	2	1.9	2	3	2.2	4	4
			英語表現Ⅲ									
			英語表現Ⅳ									
	新課程	○スピーキングテスト(回)	英語コミュニケーションⅠ								4	4
			英語コミュニケーションⅡ									
			英語コミュニケーションⅢ									
		論理・表現Ⅰ									4	4
論理・表現Ⅱ												
論理・表現Ⅲ												
○ライティングテスト(回)	英語コミュニケーションⅠ									4	4	
	英語コミュニケーションⅡ											
	英語コミュニケーションⅢ											
論理・表現Ⅰ									4	4		
論理・表現Ⅱ												
論理・表現Ⅲ												
④英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	100	45	50	48.4	60	60	70	34.7	80	80		
⑤求められる英語力を有する英語担当教員の割合(%)	76	58.3	62	61.3	67	67	72	59.2	77	77		
⑥求められる英語力を有する生徒の割合(%)	47	53.3	54	53.6	56	56	58	53.7	60	60		

校種	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022	
		目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
中学校	①学習到達目標の整備状況	設定(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		公表(%)	100	31.9	35	42.9	40	45	59.6	50	50
		達成状況の把握(%)	78	73.5	80	67.9	85	90	68.8	100	100
	②生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	95	94.5	95	97.2	96	98	83.6	98	98	
	③パフォーマンステストの実施状況	スピーキングテスト(回)	6	3.6	4	3.9	4	4	3.9	4	4
		ライティングテスト(回)	6	3	4	2.9	4	4	2.8	4	4
④英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	100	94.1	100	95	100	100	100	92.3	100	100	
⑤求められる英語力を有する英語担当教員の割合(%)	55	28.7	37	29.6	42	47	34.2	52	52		
⑥求められる英語力を有する生徒の割合(%)	47	48.3	52	39.1	57	62	53.1	62	62		

校種	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022	
		目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
小学校	学習到達目標の整備状況	設定(%)				50	100	62.4	100	100	100
		公表(%)				40	45	15.5	50	50	50
		達成状況の把握(%)				85	90	47.0	100	100	100

独自	No.	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022	
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
中学校	①	英語教育の授業におけるICT機器の活用状況・生徒の「話すこと[やり取り・発表]」(%)				32.1	100	82.6	100	100	100	
高等学校	②	スピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの状況・両方実施(%)				30.9	45	33.6	60	60	60	
中・高	③	中高連携実施の割合(%)				38.3	42	45.5	46	46	46	